



審判副委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール（聴覚）** 会場 **大野市エキサイト広場総合体育施設体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

**A** コート 第 **7** 試合

1回戦(第 1試合)  準決勝(第 2試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 2試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	<b>25</b> — <b>21</b>	}	<b>0</b> <b>札幌市</b>
<b>広島市</b> <b>2</b>		<b>25</b> — <b>12</b>		都道府県、指定都市名
都道府県、指定都市名		—		都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 林 幸則 副 審： 前川 法央  
 記録員： 佐々木 直美 A・S： 水上 ひろみ A・S： 広瀬 亜耶子

【戦 評】

記載者： 岩先 信浩

..... 広島市と札幌市の交流戦。多彩な攻撃が持ち味の広島市と粘り強いレシーブが持ち味の札幌市の対戦となった。

..... 第1セット、序盤から広島市は、木村選手のスパイク、谷川選手のサーブ等で得点を重ねて大きくリードする。対する札幌市も、粘り強いレシーブから山形（悠）選手を中心とした攻撃、門田選手のブロックで反撃し徐々に点差を詰めるが、広島市は宮田選手のサーブから得点を重ね、このセットを取る。

..... 第2セット、広島市は序盤から木村、宮田選手を中心とした攻撃でリードを奪う。札幌市も粘り強いレシーブ、福島選手のサーブ等で反撃するが、多彩な広島市の攻撃を食い止められず、リードを広げられる。安定したレシーブから、的を絞らせない多彩な攻撃を見せた広島市が、このセットを取り2-0で勝利した。